

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（5月）

留学先：マカオ大学

氏名：大柳 亜美

テストについて

授業は4月に全て終わり、5月は期末テストのみとなりました。私は履修している5科目のうち4科目の期末テストを受けなければなりませんでした。テストの方法や形式は、科目ごとにバラバラで、すごく簡単な物からとても難しいものがありました。一番簡単な物は「GAMBLING AND CRIME」という科目で、選択式の問題であり、30分ほどで終わらせることが出来ました。しかし、「NEW MEDIA」という科目は記述式で問題が非常に難解で、3時間使ってもすべて回答することが出来ませんでした。

マカオ大学のテストはどの教科も範囲がとても広く、細かなところを正確に理解しなければならぬため、十分に勉強しなければなりません。また、マカオ大学には快適に勉強できる環境が整っているため便利です。例えば、マカオ大学の立地は中国から土地を借りてマカオから海を隔てているため静かですし、広くてきれいな図書館やカフェが学校内にあります。

授業の全体的な感想について

私はマカオ大学で5つの授業を履修し、単位も取得することが出来ました。私が取った授業は「Chinese For Nonnatives」、 「New Media」、 「Principle of Marketing」、 「Western Philosophy: An Introduction」、 「Gambling and Crimes」です。色々な分野の科目を学ぼうと思い、学部にかかわらず色々な科目を選びました。ほとんどの授業が英語で開講されているということもあり、様々な授業を選択できて良かったです。福井大学と比べると授業は課題が多く、また授業外でグループ活動をする機会も多くて大変でした。

特に「New Media」ではグループで中間レポートを提出する機会が多く、頻りに集まってディスカッションをしたりしていました。その授業で自分たちのグループではオンライン学習についての概念、社会への影響、提案などを理論づけて説明してレポートにして、さらに最後の授業で発表しました。テストも難しく、大変な授業でしたが、英語で理論的に説明する練習も出来ました。また、ディスカッションを通じて現地の学生と話す機会も増えたので良い経験になりました。

また、福井大学と比べると教材の電子化が進んでいて良かったです。マカオ大学には「UMMOODLE」というポータルサイトがあり、自分のIDでログインして履修している教科の教科書や資料、パワーポイントなどをダウンロードすることが出来ます。そのため、私の場合は一冊しか教科書を買わなくて済んだため、助かりました。福井大学もポータルサイトを積極的に利用していくと良いと思います。

持っていくべきもの、やっていくべきもの

特に持っていくべきだと思ったのは虫よけスプレーやかゆみ止めです。マカオには非常に蚊が多く、とても刺されやすいです。特にマカオ大学には人工的な川が何本か流れているのもあり、蚊が繁殖してしまっており、特に寝ている間に何か所も刺されました。マカオの薬局でも変えましたが、日本のものと比べると効果が薄いように感じました。また、寮にはベッドがありますが布団は自分で用意しなければならないので空港に着いたらなるべく早く買っておくべきだと思いました。

やっておくべきことは、やはり英語の勉強です。私は留学できる TOEFL ITP の 530 点をギリギリで取っていましたが、もっと勉強しておけば良かったと何回も思いました。授業は全部英語ですし、他の学生とも中国語が話せないとなると英語を話すしかありません。他の学生も英語のネイティブではないのでヨーロッパやアメリカなどと比べると授業やコミュニケーションは簡単だと思いますが、それでも分からないと感ずることが多かったので英語はできるだけ勉強しておく必要があると思います。

留学を終えて

マカオは言葉も文化も何もかも日本と異なるので戸惑うことも多かったです。しかし、他の学生の助けもあり、楽しく快適に学生生活を送ることが出来ました。留学をしたおかげで自分自身、様々な面で成長が出来たように感じます。留学をこれで終わりにせず、この経験を仕事やプライベートなどに積極的に活かしていきたいです。

